



輪島ボランティア

先日の3連休で石川県輪島市にボランティアに行ってきました。石川県のボランティアは前回の七尾市に続いて2回目です。以前、観光で輪島市に行ったことはあったのですが、それも10年以上前の話です。まさか、こんな形で再び輪島に来ることがあるなんて…そんな事を思いながら向かいました。片道5時間半の長旅です(笑)金曜日の夜中の2時に出発して、安全運転で向かいました。輪島に着いた第一声が「こんなにひどいんだ…」でした。電柱は斜めになっている場所がいくつもあり、道路もボコボコ。家も傾いたり、崩れたりしていました。1月の地震でこんな状況になってしまったのに、さらに豪雨までくるなんて、想像しただけでも被災者の方の絶望感が伝わってきます。ボランティアセンターで登録をして、早速初日の家に向かいました。今回、ボランティアで同じ

チームになったのが15名程度でしたので「こんなにたくさんの人で行って、やる事あるかな～」なんて思いながら到着しました。そのお家は倉庫は崩れ落ち、家の中は泥だらけ。家に続く道も足首くらいまでの土砂が埋まっている状態でした。早速、外の土砂を片付ける係と、家の中の泥を出す係にわかれて作業を開始しました。私は外の土砂を掻き出す係です。最初の5分までは元気だったのですが…20分後には笑顔でいることさえ辛くなりました。この土砂が粘土質でめちゃくちゃ重たいんです。スコップを持つ手もブルブル震えて力がはいりません。そんな状態で午前中は頑張り、なんとか外の土砂は片付けることができました。午後からは家の中の泥出しと、家財の片付けをしました。豪雨から2週間以上たっていたのに、家の中の泥はまだ水分を含んでいました。表現する



ならばビチャビチャの状態です。これがスコップで掻き出すたびに跳ねて、服は一瞬で泥だらけ…。家財道具を外に出すために作業していても、泥だらけ。みんなで泥だらけになりながら作業しました。でも、一番困ったのは、水が出ないことです。ライフラインが復旧しておらず、水道が使えないんです。なので、本来であれば泥を掻き出した後に、水拭きをするのですが、それができません。(書く場所がなくなってきましたので、下の段に続きませぬ…)

みんなのひとり言

10月の半ばなのに、会社の入り口でクワガタを発見しました。それを社長に伝えると「マジで？捕まえよう！」と言って外に出てきました。しばらく見ていると、紙を使って箱の中に入れようとしていました。ま、まさか…「社長、クワガタが怖いのか？」って聞くと「昔は平気だったけど大人になったらされなくなっちゃった…」と話してくれました。カッコわる～～(笑)あんな体型しておいて、クワガタも触れないなんて、なんだか笑えてしまいました。



喜んでいただけました！のコーナー

できる事は全部やってあげたくて、みんなで頑張りました。夕方には何とか泥を全部掃き出し、使えない家財道具は全て外に出し、集積場に持って行って、だいぶスッキリしました。今回、大切にしている事がありました。それは、家を片付ける事だけではなく、被災者の皆さんの気持ちを少しでも笑顔にしてあげたかったのです。だから休憩の時は家主さんとなるべく会話もするようにしました。地震の時や豪雨の時はどうしていたのか。今の

生活は大丈夫なのか。など話すことで、少しでも気持ちが軽くなるように心がけてお話をしました。午前中に話している中で、実は腰が痛くて立っているのもつらいんだけど、皆さんが頑張っている中で、私だけ座っているのも心苦しい…という事で、ずっと立って、私たちと一緒に作業をしてくれていました。それを聞いて「大丈夫ですよ。作業は私たちがやりますので、いるものと廃棄していいものを教えてください」と声をかけて、座ってもらうことに

もしました。そんなやり取りをずっとしていた事もあり、夕方にはすごく仲もよくなり、来た時より笑顔で話してくれるようになりました。帰り際は、見えなくなるまで手を振ってくれず「ありがとうございました！」と何度もお辞儀をしてくれました。小さな事かもしれませんが、本当に喜んでもらえてよかったな～って思いました。

今月の格言！

もうこれで満足だという時は
すなわち衰えるときである

(渋沢栄一)

私なんて、すぐにこれでいっかって思っちゃうので、衰えてばかりいる気がします。

確かに歳を取るにつれて、進化どころかすごい勢いで退化してる気がする・・・